



11月15日（火）は創立記念日のため、外来診療を休診とさせていただきます。

◆新任挨拶 薬局長 田中 克巳

10月1日付で薬局長を拝命しました田中克巳でございます。就任にあたりご挨拶申し上げます。私は1988年4月に昭和大学病院薬剤部に研修生として、同年10月薬剤部（現薬局）に採用され、以来約27年間勤務（うち2年間、PMDAへ在籍出向）して参りました。

近年、医薬品を取り巻く話題は尽きることなく、ポリファーマシー（注）、電子版お薬手帳、地域包括ケアシステム構築、高額薬剤問題など、喫緊に取り組む課題があります。一方、昭和大学の教育職員として学生や薬剤師レジデントの教育、臨床研究の推進など「社会に貢献できる医療人の育成」の使命があり、一層尽力する所存です。

先日ある研修会において、病院薬剤師はくすりの調合が主体であった昭和40年代のから時を経て、凡そ医薬品を使用する患者に関わる全般への関与と教育に携わる薬剤師に変化を遂げている、と説明がありました。まさにその通りであり今後も社会や環境の変化に適応できる薬剤師でありたいと思っています。

「女性と子どもにやさしい病院」のチーム医療を担う薬局は一丸となって「医薬品の安全使用」に責任を果たすことで安心・安全の医療を提供したいと思っています。今後とも皆様のご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

（注）「たくさんの種類の薬を同時に服用している状態」をさし、それらの薬が必要なこともあるが相互作用や飲み間違いが問題となる場合もある。



第31号のトピックス

- 新任挨拶 田中薬局長
- IFHIMA2016について
診療録管理士 鎌倉係長
- 医療安全管理室紹介
看護師 菅原師長

◆IFHIMA2016 診療録管理係 鎌倉 由香

IFHIMA 2016とは、いったいなんのことだろう？とお思いではないでしょうか。

これは、The International Federation of Health Information Management Associations すなわち IFHIMAという略で、診療情報管理協会国際連盟のことです。1968年設立の診療情報管理分野での世界有数の国際連盟です。全世界の診療情報管理の懸け橋として、診療情報管理にかかわる各国を代表する協会や個人に対し、自国における診療情報管理とその維持システムの運用や運営、そして改善のサポートをしている団体です。

この国際連盟主催の国際学会が、3年に1度各国で開催されます。本年は第18回大会が、2016年10月11日から10月14日の会期にて、世界44ヶ国の診療情報に携わる方々が集まり東京国際フォーラムで開催されました。この国際大会が「IFHIMA2016」です。

日本開催は初めてであり、アジア地域では、2007年第15回の韓国大会以降の開催となりました。

また、今回の日本開催においては、世界レベルの診療情報管理についての国際学会と同時に、2016WHO-FIC年次会議（WHO Family of International Classifications）、およびに日本の診療情報管理についての学術大会である第42回日本診療情報管理学会学術大会と3つの大きな大会の同時開催となりました。途上国による「死因統計サミット」、「世界各地の診療情報管理の現状」についてのワークショップ、「先進的な医療情報活用への取り組み」のシンポジウムなど、大変興味深いプログラム内容で開催され大盛會にて終了いたしました。



当院では、IFHIMA国際大会の催しの一つである病院見学を10月15日に実施しました。日本の病院では、電子カルテや診療情報の管理についてどのように構築して運用を行っているのかなど大変熱心に見学されていました。

当院の特徴であり、目指している「女性と子どもにやさしい病院、安全で安心の医療を提供」を実施するために、医療情報そして診療情報の管理においては、正確でタイムリーな記録をすることそして万全なるセキュリティーの徹底が重要です。日頃から当院全職員が実施している患者さんへの「まごころ」もしっかりと見学して頂けたことと存じます。



院内コンサート開催します。

日時：平成28年11月20日（日）15:00～

場所：1階タリーズ前

出演：こうだ fusai

内容：うたとウクレレ

曲目：ぽっかぽか、にじ

故郷、うさぎのワンピース（絵本うた）

幸せなら手をたたこう、ホイホイ音頭

オーシャンゼリゼ、他



◆医療安全管理室紹介 菅原 多恵子

こんにちは。3月から、医療安全管理室担当になりました。室長の上條先生を柱に、新メンバーのクオリティマネジメント課青木さんと毎日、3階事務室奥で熱い論争を繰り広げています。

医療安全管理室には、毎月平均170件のインシデント・アドバースイvent報告があがってきます。これらの分析と部署ラウンドで1日がスタートします。手術や検査、処置などでの合併症

の有無、患者・家族からの暴言暴力、虐待、治療拒否の対応や

インフォームドコンセント同席、予期せぬ急変時の状況分析等、様々なトラブルに対応しています。また、医療事故防止のため講習会、救命処置、カテーテル挿入、チームステップス等の研修も実施しています。

多くの医療機関で医療安全を確保するための努力はなされていますが、大きな医療事故は後を絶ちません。安全な医療を提供するはずの病院の信頼を揺るがす事態が起こっています。当院では、重大な医療事故の発生はありませんが、些細な確認ミスやマニュアル不履行、コミュニケーションエラーが要因でのインシデント・アドバースイventが起こっています。これらのイベントを細かく精査して再発防止に努めています。コミュニケーションエラーが医療事故につながりうるので、少しでも疑問に感じ、おかしいと思ったことは遠慮せず確認し、お互いに協力しあうことが大切だと思っています。

医療安全管理室では、スタッフの皆さんの安全な職場環境と患者さんへの安全な医療の提供のため全力で取り組みますので、よろしくお願いいたします。



1列目右から3人目 菅原師長

編集後記 高田 義孝

体を動かすのに気持ちいい季節になりました。江東区では「湾岸EKIDEN フェスティバル2016・秋」「江東シーサイドマラソン大会」など、スポーツイベントが数多くあります。

私事ですが、何かスポーツして体を動かそうと思ひまして、歩くことから始めようと思ひ、30分歩きました。しかし翌日には膝が痛くなりました。

スポーツの秋でもあります、それよりも食欲の秋です。膝のためにも食欲で頑張ります。